

第2次 北海道食品ロス削減推進計画 における数値目標(案)

令和7年10月

北海道農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課

【主な確認事項】

1 北海道の食品ロス発生量

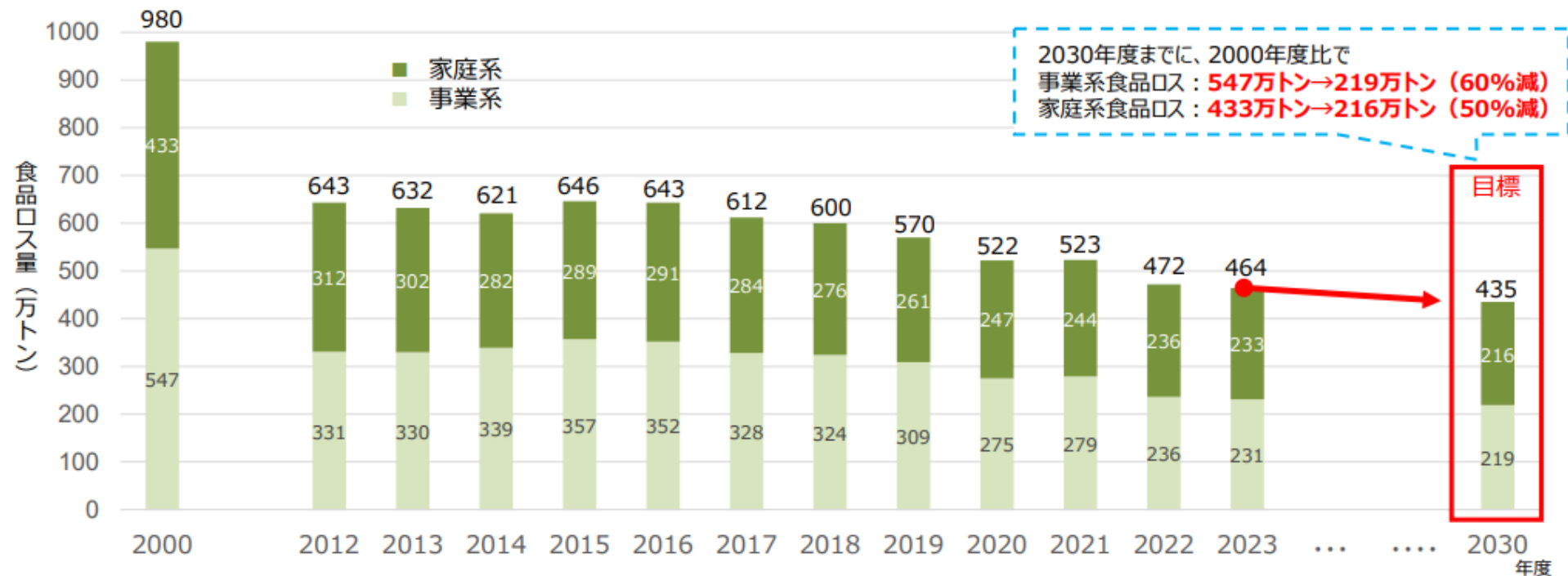
- ・ てん菜糖業製造業を除いた食品ロス発生量で算出
北海道の実状に即した数値で表現
副産物のビートパルプは、家畜の飼料等に有効活用されているため

2 数値目標

- ・ 令和12年度（2030年度）までに、食品ロス量を10%削減
国の目標を上回る削減率をめざす

1. 我が国の食品ロス発生量の推移と削減目標

2030年度に、2000年度と比べ、家庭系食品ロス量・事業系食品ロス量ともに50%減の目標としていたが、事業系食品ロス量は、2022年度推計で8年前倒しで目標を達成したことから、新たな60%減の目標を設定した。
(事業系目標：273万トン→219万トン ※第2次食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針 2025年3月25日閣議決定)



年度	2000	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2030
家庭系	433	312	302	282	289	291	284	276	261	247	244	236	233 (▲46%)	216 (▲50%)
事業系	547	331	330	339	357	352	328	324	309	275	279	236	231 (▲58%)	219 (▲60%)
合計	980	643	632	621	646	643	612	600	570	522	523	472	464 (▲53%)	435 (▲56%)

(農林水産省及び環境省 推計) (単位 万トン)
※端数処理により合計と内訳の計が一致しないことがあります。

()内の数字は、2000年度と比較した削減率

(参考：年間の食品廃棄物等 (2,104万 t))

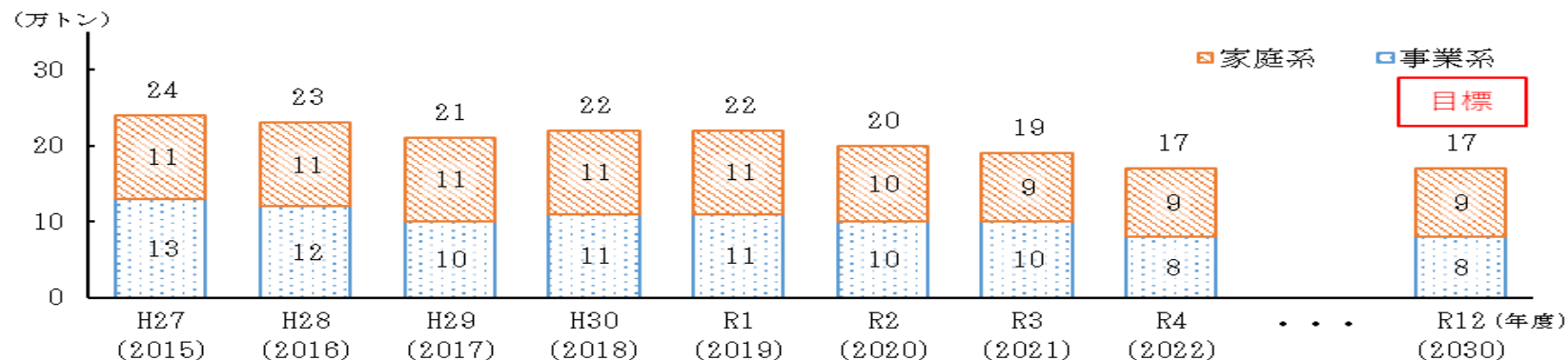
資料：消費者庁「食品ロス削減関係参考資料」の資料から引用

2. 北海道の食品ロス発生量(令和4年度推計)

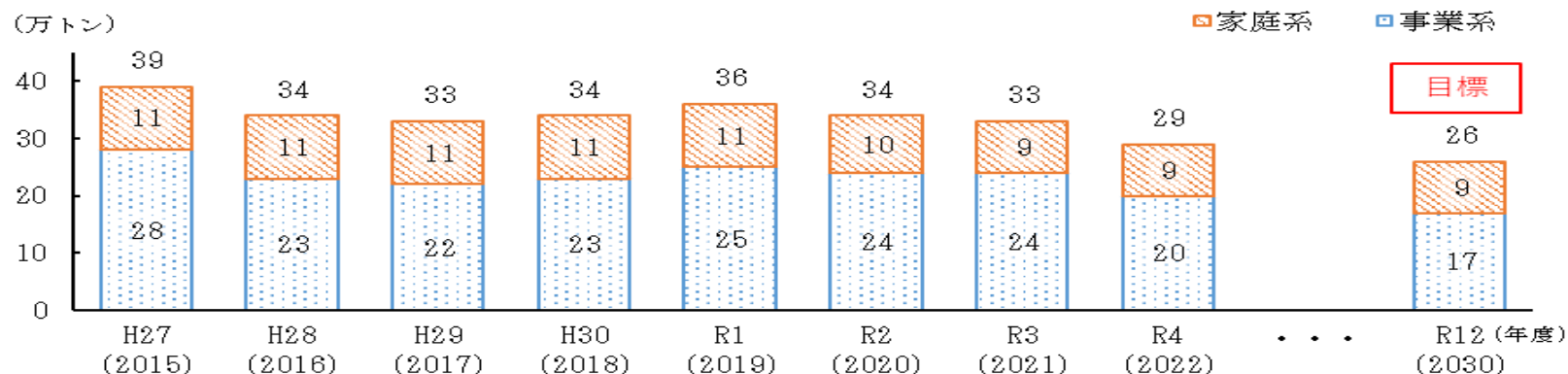


北海道の食品ロス発生量は **17万トン**、事業系が **8万トン**、家庭系が **9万トン**

〔てん菜糖製造業を除いた食品ロス発生量〕



〔参考:てん菜糖製造業を含めた食品ロス発生量〕



※ 道内の食品製造業の食品廃棄物等発生量は、**家畜の飼料などに活用されるビートパルプ**を主とするてん菜糖製造業の副産物が大きな割合を占めている。このような状況の踏まえ、より実態に合った数値とするため「**てん菜糖製造業を除いた食品ロス発生量**」を道内の食品ロス発生量とする。

農林水産省の推計値等を参考に北海道で推計 (参考:R4食品廃棄物等(212万t))

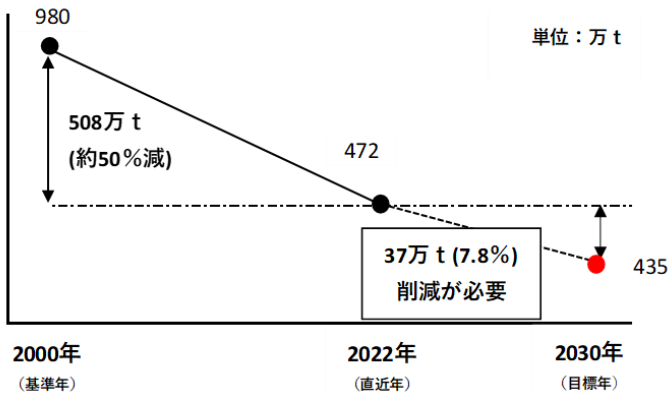
第2次 北海道食品ロス削減推進計画／目標数値の設定

- (1) 食品ロス発生削減目標
直近の令和4年度（2022年度）を基準に、令和12年度（2030年度）までに、**食品ロス量を10%削減**する。
(参考：国の目標は7.8%削減)

区 分	令和4年度	令和12年度	削減量	当初目標（令和12年度）
食品ロス量	17万 t	15万 t	△2万 t	17万 t
事業系	8万 t	7万 t	△1万 t	8万 t
家庭系	9万 t	8万 t	△1万 t	9万 t

目標設定の考え方

- 国では、**2030年度目標の435万 t**を達成するため、**2022年度から7.8%削減**すると試算。
- 北海道では、近年の推移状況や当初目標を達成していることなどを踏まえ、2022年度を基準に2030年度までに、国の目標水準を上回る**約10%、2万 t 削減**を目標として設定。



- (2) 食品ロスの削減に向けた行動目標
食品ロス削減のために何らかの行動をしている道民の割合を直近の令和6年度から約10ポイントアップさせ、令和12年度に80%以上と設定する。

区 分	令和6年度	令和12年度
家庭で実施	78%	80%以上
外食時に実施	71%	